

京都市外国籍市民意識・実態調査報告書

(ダイジェスト版)

調査概要

- | | |
|------------|--|
| 1 調査目的 | 京都市に在住する外国籍市民の実態と抱える課題を把握し、本市における国際化推進に係る新たな指針の策定をはじめ、今後の外国籍市民施策を検討するにあたっての参考とするために実施。 |
| 2 調査対象 | 京都市で外国人登録をしている 20 歳以上の男女 3,700 人 |
| 3 調査期間 | 平成 19 年（2007 年）6 月 29 日～7 月 20 日 |
| 4 調査方法 | 郵送法 |
| 5 有効回答数（率） | 979 票（約 26.5%） |
| 6 備考 | <ul style="list-style-type: none">この調査において、「オールドカマー」とは「1952 年以前から日本にお住まいの方、あるいは日本で生まれたすべての方」向けの質問票の回答者を、「ニューカマー」とは「外国で生まれて、1953 年以降日本にお住まいの方」向けの質問票の回答者を、それぞれ指している。「N=590」などの表示はその質問項目における有効回答総数を表している。 |

京都市

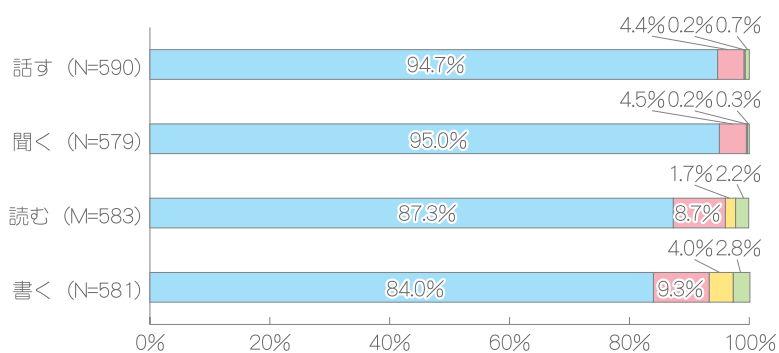
使っている言葉

日本語を「話す」「聞く」「読む」「書く」能力

オールドカマーでは全般にわたり8～9割以上が日本語使用に支障がないことがうかがえます。一方、ニューカマーでは「書く」「読む」の面で3～4割が「あまりできない」「ほとんどできない」と回答しています。

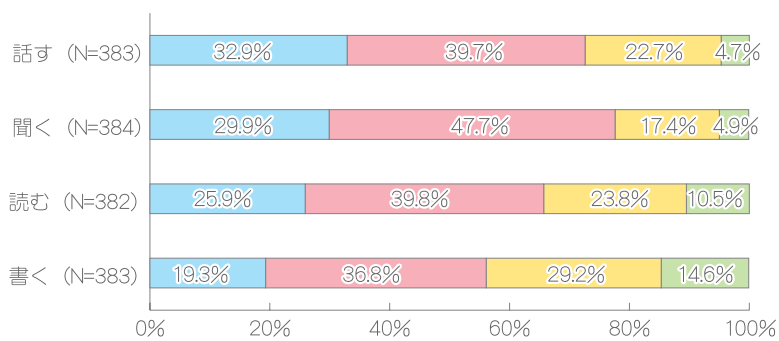
あなたの日本語能力をご自分で判断するとすれば、次のどれにあたると思われますか。

オールドカマー



不自由なくできる
だいたい問題ない
あまりできない
ほとんどできない

ニューカマー

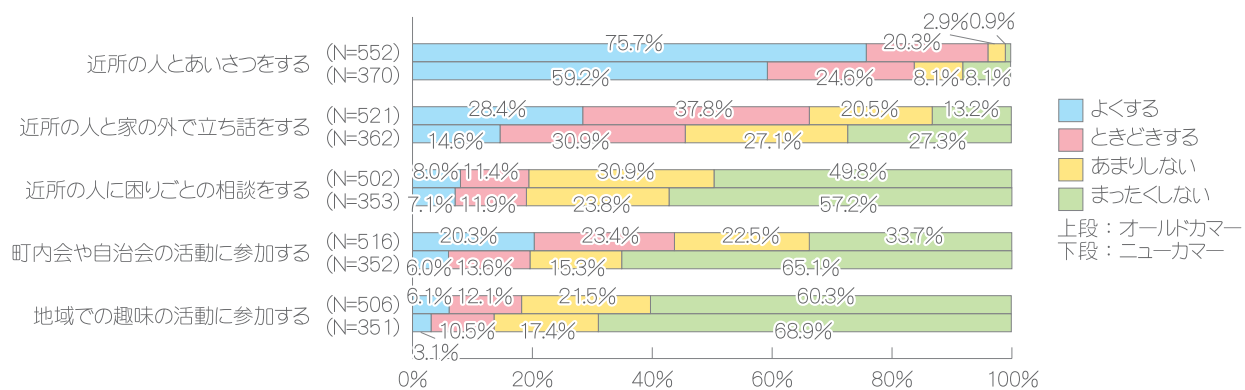


地域・近所とのかかわり

地域・近所の人とのつきあいの程度

オールドカマー・ニューカマーともに「よくする」の割合が最も高いのはあいさつであり、趣味の活動や困りごとの相談は両者とも「まったくしない」の割合が高くなっています。また、町内会・自治会活動については両者の間で参加の度合いにかなりの差異が見られます。

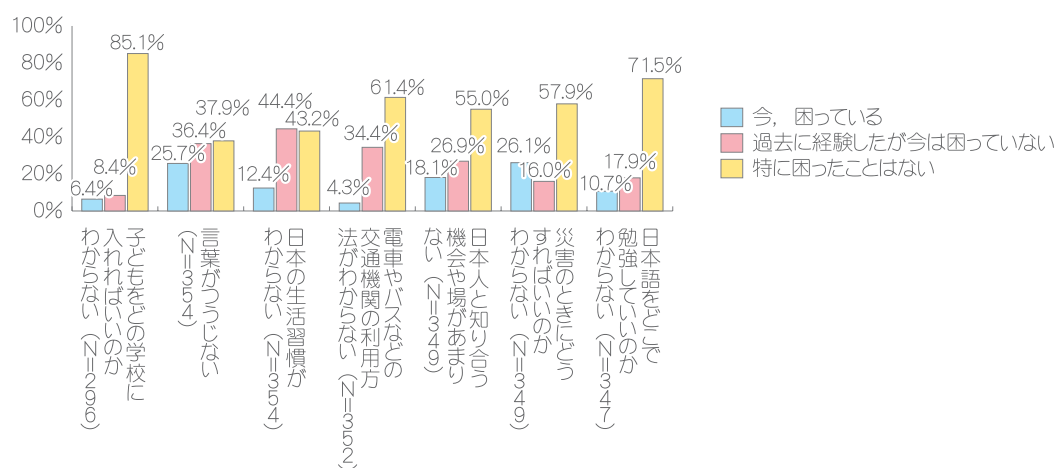
あなたと地域・近所の人とのつきあいはどの程度ですか。



地域の生活で困ったこと (ニューカマーのみ)

ニューカマーが現在困っていることとして、災害時の対応と言葉が通じないことを挙げる回答が最も多くなっています。

あなたは地域での生活において次のようなことで困ったことはありますか。

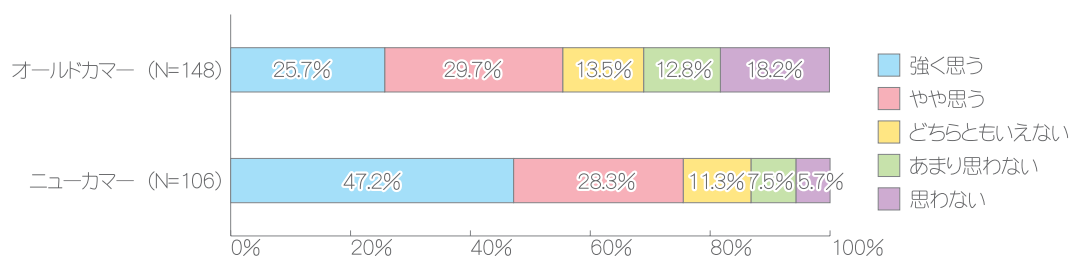


育児・教育

母国の言葉・文化に関する教育の希望

子どもに母国の言葉・文化に関する教育を受けさせたいかとの問いに対しては、オールドカマー・ニューカマーともに5割以上がそれを望むと回答しており、「強く思う」の割合はニューカマーの方がオールドカマーより高くなっています。

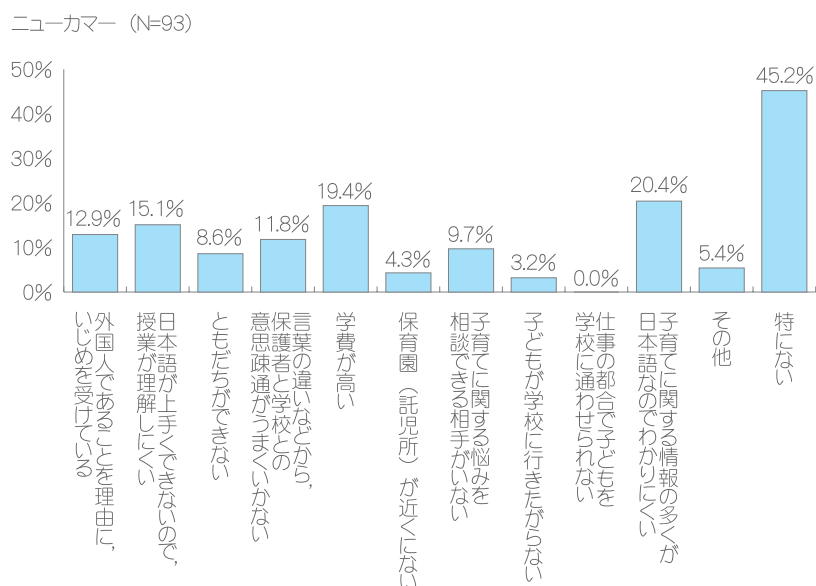
あなたはお子さんに母国の言葉や文化などについての教育を受けさせたいと思いますか。



子どもの育児・教育について困っていること (ニューカマーのみ)

育児・教育についての困りごととしては、子育てに関する情報の分かりにくさや学費の高さを挙げる人が2割前後で最も多く、授業が理解しにくい、いじめを受けている、がそれに続いています。

お子さんの育児・教育に関して困っていることはありますか。(あてはまるものすべて選択)

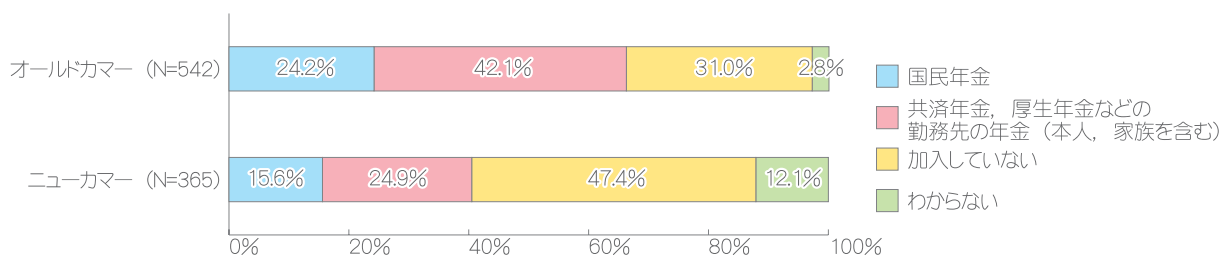


医療・年金

公的年金の加入状況

オールドカマーで最も多いのは共済・厚生年金への加入ですが、「加入していない」の割合も3割にのぼっています。一方、ニューカマーでは約半数が「加入していない」と回答しています。

あなたはどのような公的年金に加入していますか。

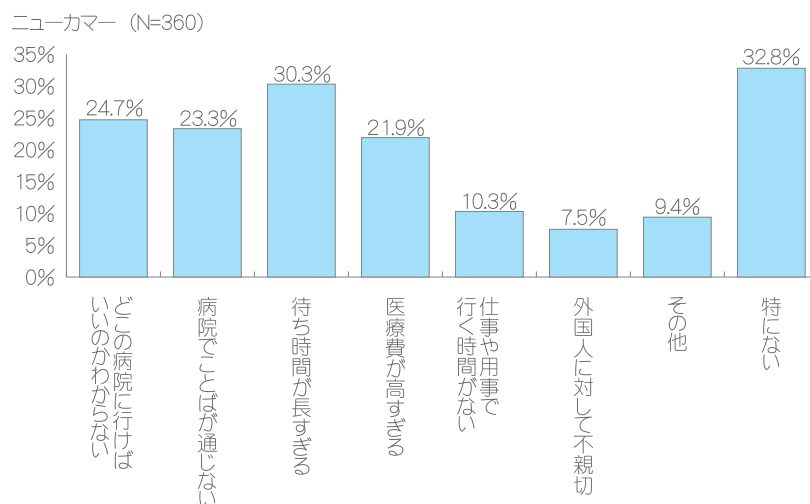


病院に行くときに困ったこと (ニューカマーのみ)

病院について困った経験としては、待ち時間の長さを挙げる人が3割にのぼり、ついで病院に関する情報の不足、言葉が通じないこと、医療費の高さが2割台で続いています。

あなたが病気になって病院に行くときに困ったことはありますか。

(あてはまるものすべて選択)



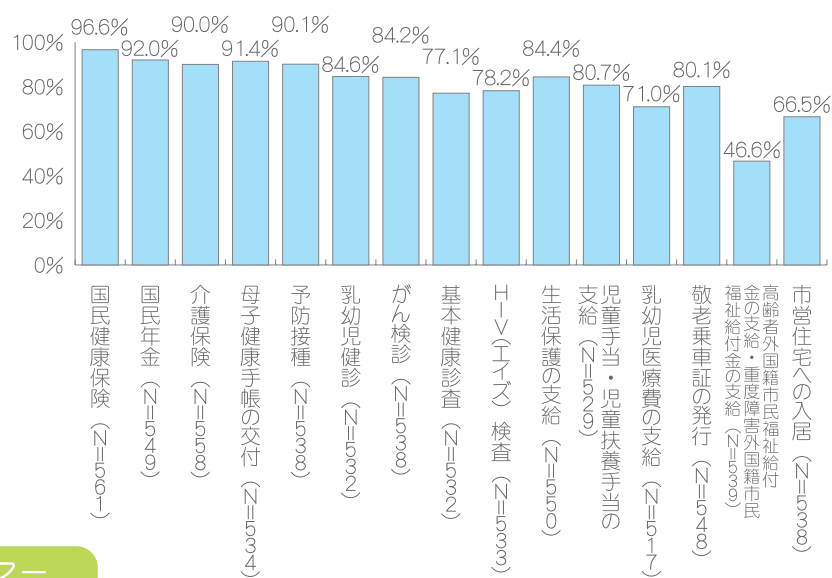
行政・団体サービス

行政サービスの認知状況

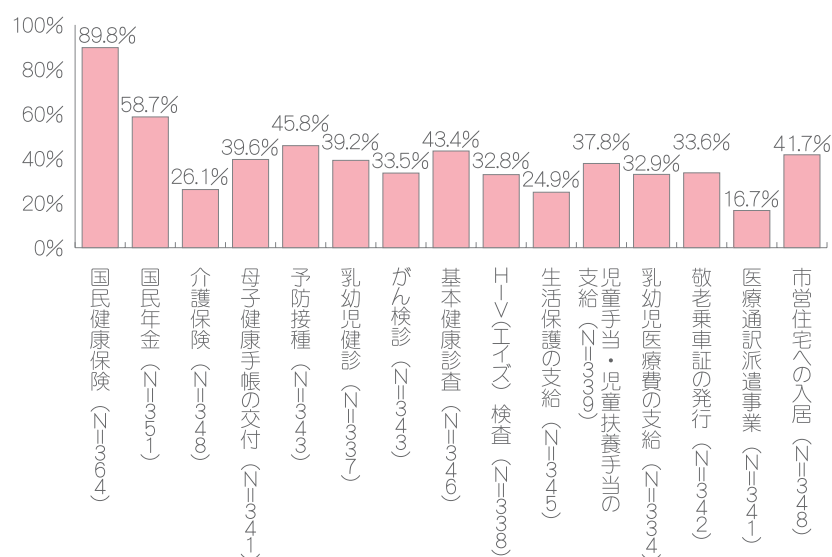
オールドカマーでは8～9割の人がほとんどのサービスを「知っている」と回答しています。一方、ニューカマーにおいて「知っている」の割合は、2～4割程度にとどまっているケースが目立ちます。

京都市では次のような行政サービスを実施していますが、外国籍市民もその対象となっていることをあなたにご存知ですか。

オールドカマー



ニューカマー

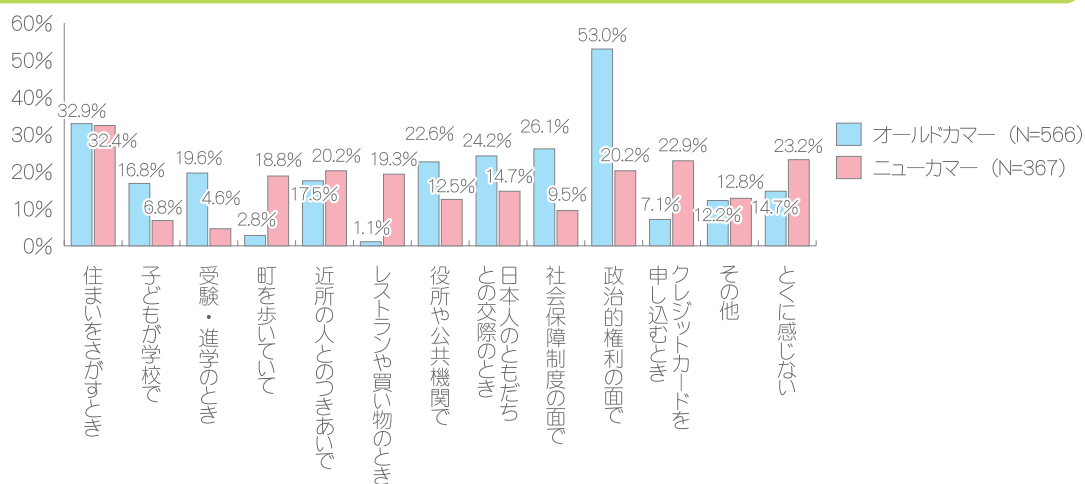


日本社会の差別と偏見 1

差別や偏見を感じる場面

差別や偏見を感じる場面として、オールドカマーでは「政治的権利の面」を挙げる率が最も高く、選挙権・被選挙権のない状態が社会参加への大きな壁であるとする声が多く聞かれました。ニューカマーでは「住まいをさがすとき」という回答が最も高くなっていますが、これはオールドカマーからも同程度の回答が寄せられています。

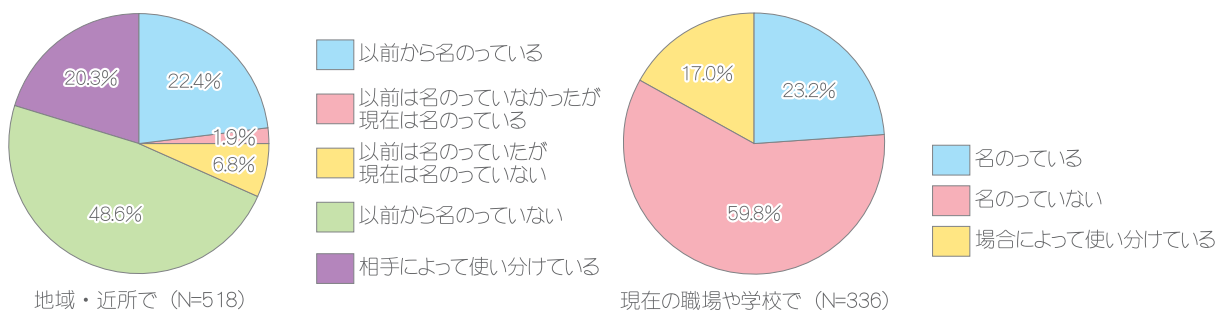
どのようなときに日本社会の差別や偏見を感じますか。(あてはまるものすべて選択)



本名の使用状況 (オールドカマーのみ)

オールドカマーの本名使用については、地域・近所においては「以前から名のっていない」が5割弱、職場・学校においては「名のっていない」が6割弱で、一貫して本名を名のっている人は両者ともに2割台にとどまっています。

あなたは自分の本名を名のっていらっしゃいますか。

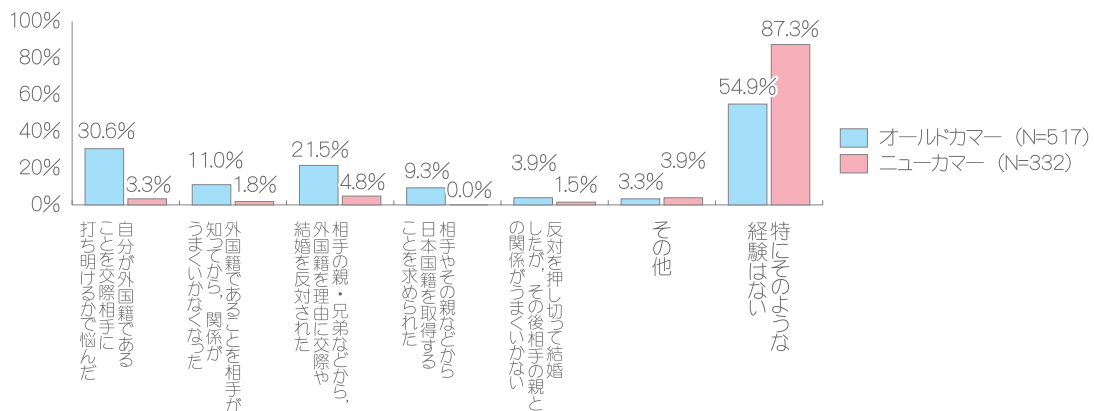


日本社会の差別と偏見 2

日本人との交際・結婚におけるトラブル

交際・結婚に際して、オールドカマーでは自身の出自を相手に打ち明けるかで悩んだり、相手の親・兄弟から交際・結婚を反対されたと回答する人が2～3割見られる一方、ニューカマーではトラブルの経験がないとする回答が8割以上にのぼっています。

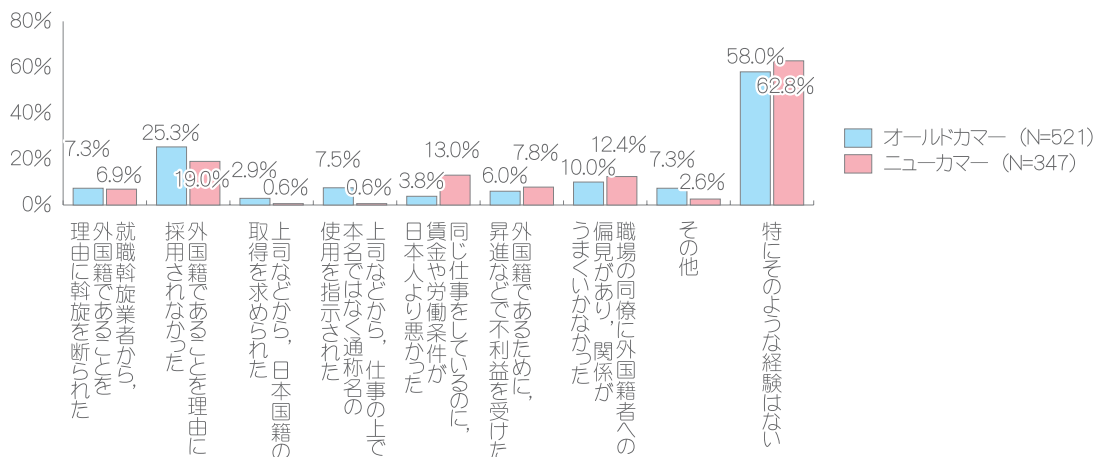
あなたは、日本人との交際や結婚に際して、国籍や文化の違いによる悩み・トラブルや偏見・差別を経験したことがありますか。(あてはまるものすべて選択)



就職・雇用の際のトラブル

就職・雇用に際してのトラブルについては、オールドカマー・ニューカマーともにそうした経験がないとする回答が6割前後になっていますが、トラブルの経験としては「外国籍であることを理由に採用されなかった」ことを挙げる割合が両者とも最も高くなっています。

就職(アルバイトを含む)や雇用などにおいて、あなたが外国籍であることに関わるトラブルや偏見・差別の経験がありますか。(あてはまるものすべて選択)

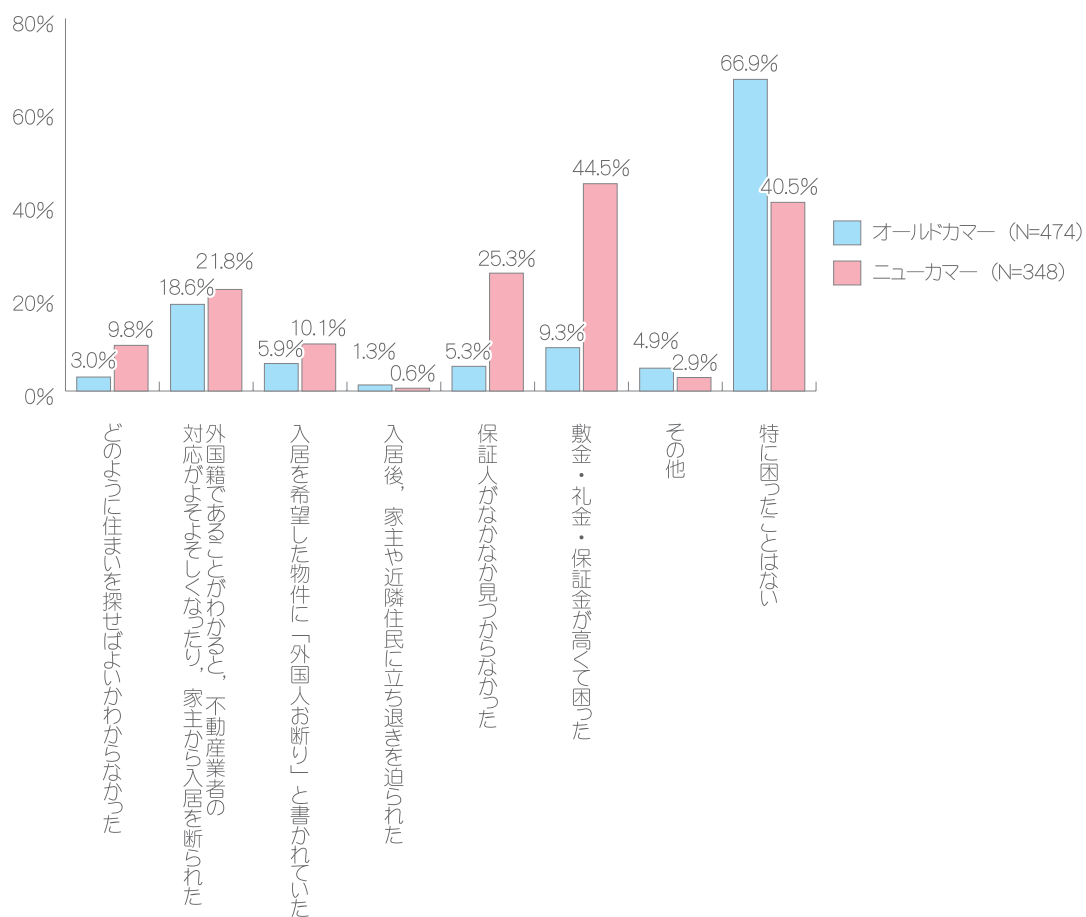


住まい

住まいに関わる経験

住居に関わる経験については、オールドカマーで最も多いのは「とくに困ったことはない」という回答ですが、住居探しの段階で入居を断られたとする人も一定程度見られます。ニューカマーでは、敷金・礼金・保証金の高さを挙げる人が4割にのぼるほか、保証人探しで困ったり、住居探しの段階で入居を断られたという回答がそれに続いて高い割合になっています。

お住まいについて次のようなことを経験されたことはありますか。
(あてはまるものすべて選択)

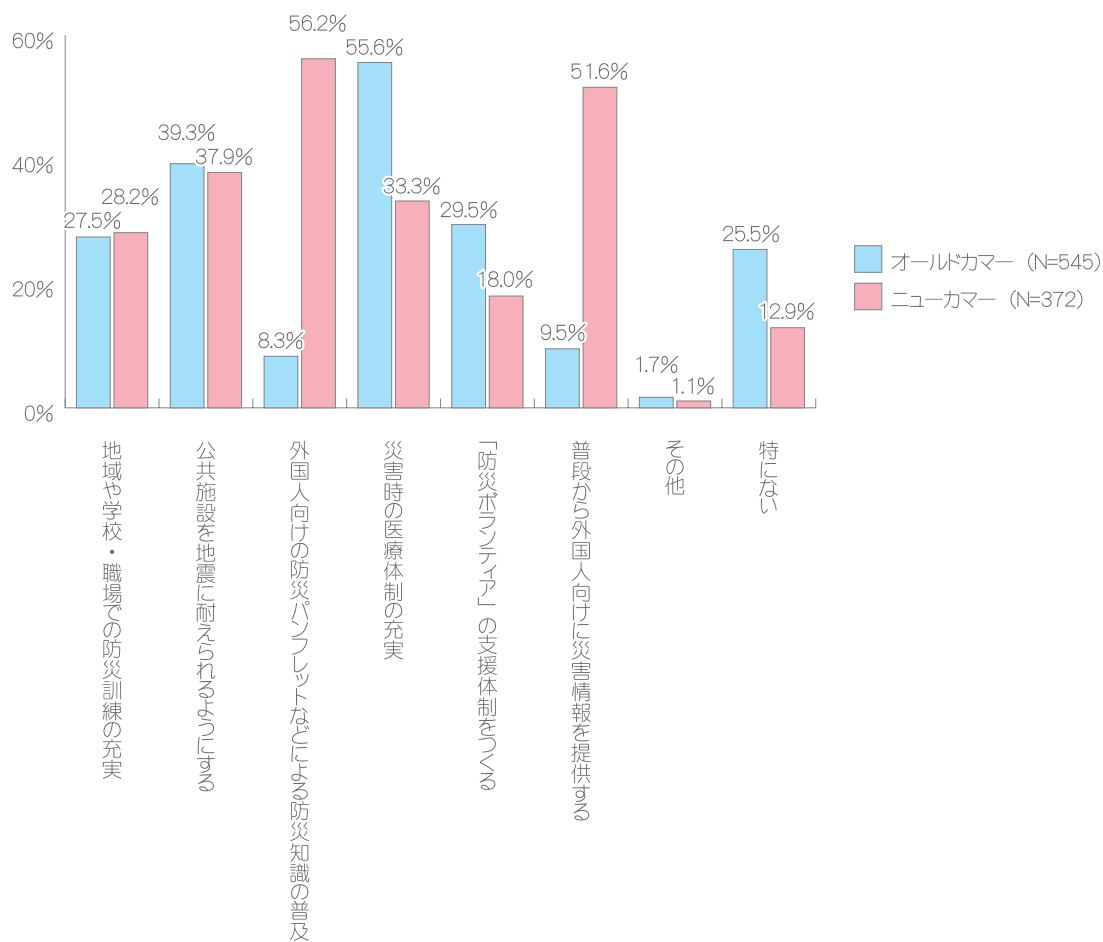


緊急時の対応

京都市に望む災害対策

京都市に望む災害対策としては、オールドカマーでは災害時の医療体制の充実、ニューカマーでは防災知識の普及、災害情報の提供が、それぞれ特に高い回答となっています。

地震などの災害対策として、京都市に望むことは何ですか。(3つまで選択)



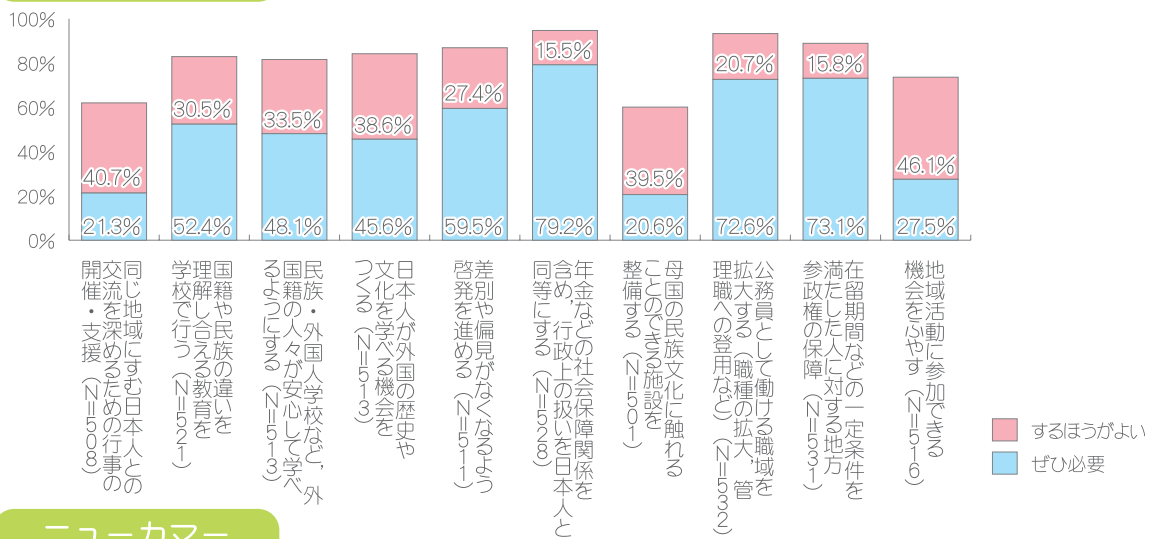
外国籍市民施策のあり方

必要と思う外国籍市民施策

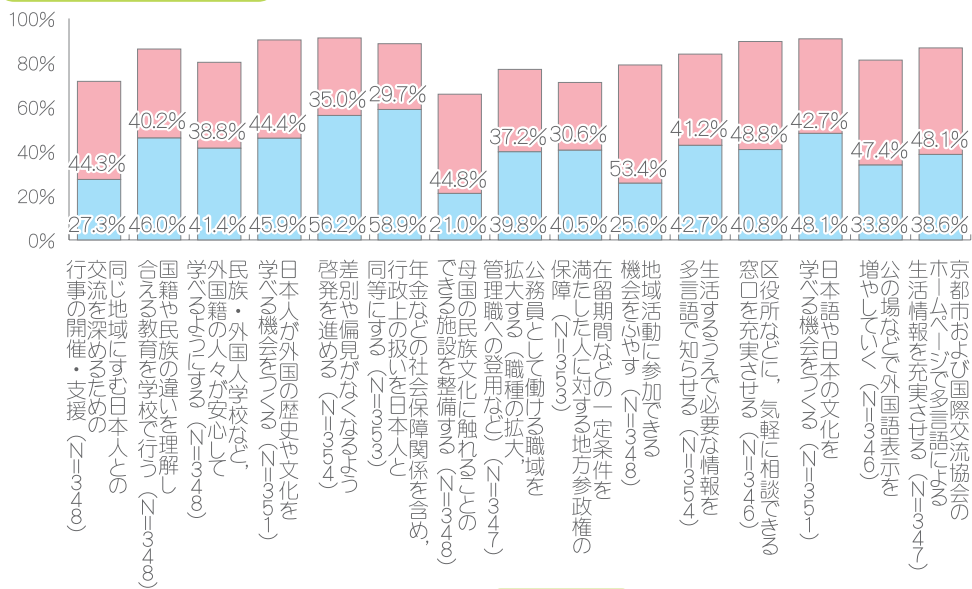
京都市に要望する施策として、「ぜひ必要」とする割合が多かったのは、オールドカマーでは「行政上の扱いを日本人と同等にする」、「地方参政権を保障する」、「公務員として働ける職域を拡大する」、ニューカマーでは「行政上の扱いを日本人と同等にする」、「差別や偏見がなくなるよう啓発を進める」、「日本語や日本の文化を学べる機会をつくる」となっています。

京都市に在住している外国籍の人びとが暮らしやすい街や社会をつくるためには、どのような施策が必要だと思いますか。

オールドカマー



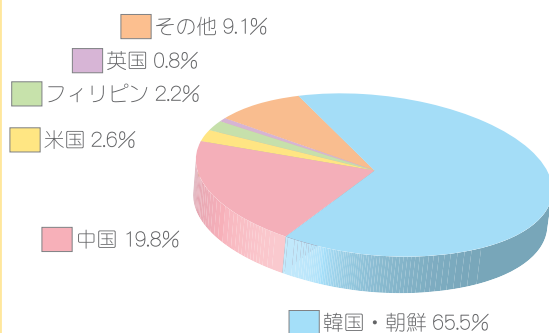
ニューカマー



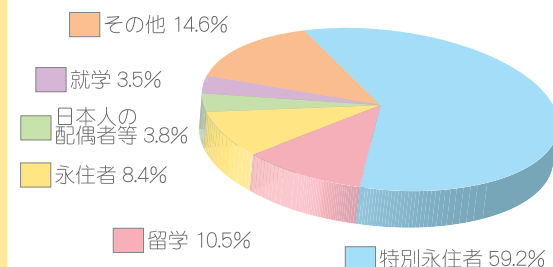
京都市における外国籍市民の概況

- 京都市には、108 箇国、42,258 人の外国籍市民が暮らしています。
- 国籍別では、「韓国・朝鮮籍」の人が 27,695 人（外国籍市民全体の 65.5%）と最も多く、次いで、「中国籍」の人が 8,353 人（19.8%）、「米国籍」の人が 1,083 人（2.6%）、「フィリピン籍」の人が 948 人（2.2%）、「英国籍」の人が 354 人（0.8%）となっています。
- 在留資格別では、「特別永住者」が 25,006 人（59.2%）と最も多く、次いで、「留学」4,419 人（10.5%）、「永住者」3,552 人（8.4%）、「日本人の配偶者等」1,603 人（3.8%）、「就学」1,487 人（3.5%）となっています。
- 京都市では、こうした多様な外国籍市民をはじめ、京都に住むすべての人々が国籍や文化の違いを超えて、いきいきと生活でき、自由で活発な交流ができる「多文化共生社会」の実現を目指しています。

京都市における国籍別外国人登録者の状況



京都市における在留資格別外国人登録者の状況



※数字はすべて 2006 年 12 月 31 日時点の外国人登録者数に基づく。

京都市外国籍市民意識・実態調査報告書（ダイジェスト版）
 平成 19 年（2007 年）12 月
 発行：京都市総務局国際化推進室
 〒604-8571 京都市上京区寺町通御池上る上本能寺前町 488
 TEL 075-222-3072 FAX 075-222-3055
http://www.city.kyoto.lg.jp/somu/soshiki/3-4-0-0-0_1.html

